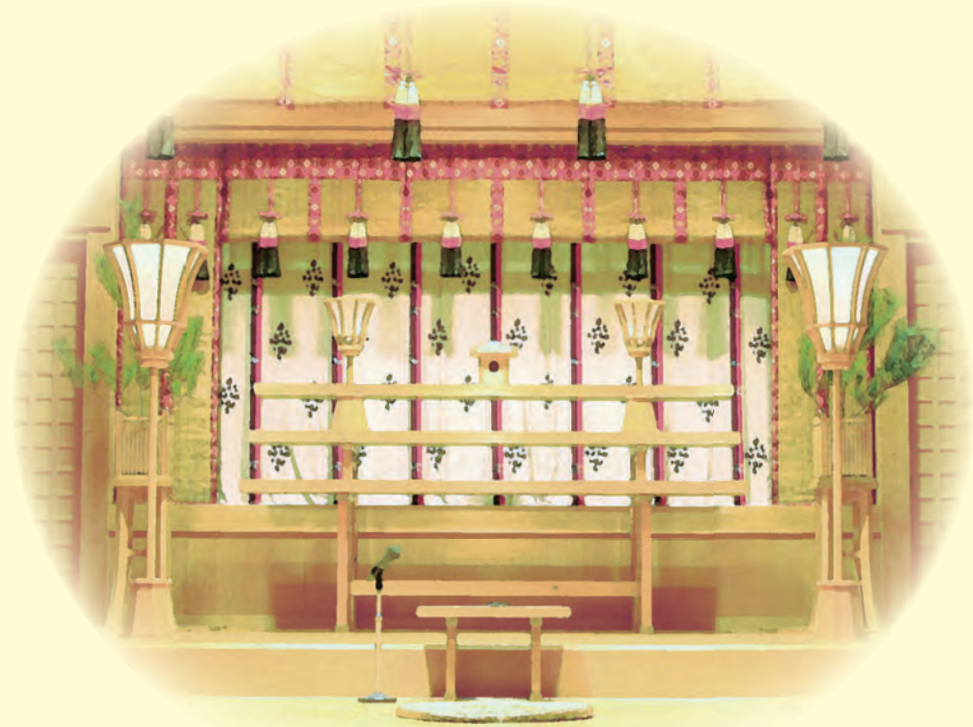


年祭と毎年慰霊祭



子孫の大切な務め

人間の霊魂は死後、霊界に復活し、現界と同様に衣・食・住が必要な生活を送っています。
年祭、毎年慰霊祭の申し込みや、参拝、家庭内でのお給仕、祖霊社への日供料の納付は、私たち子孫の大切な務めです。それら子孫の真心は、祖霊の霊界での向上につながり、大きな喜びを与えます。そして、その喜びは現界に住む私たち子孫にも伝わるものなのです。



豆知識

復祭：大本の方式によつて、梅松苑・みろく殿内の祖霊社へ、祖先のみたまをまつりかえすことをいいます。そのとき、大本祖霊社の祖霊台帳に記載され、「復祭番号」を頂きます。
祖霊社：復祭された大本信徒の各家々の祖霊をおまつりしています。祖霊社には各家の祖霊のみたまをまつる「霊璽」という御霊代がおさめられており、祭典の他、朝夕拝が毎日行われています。
祖霊舎：各家で祖霊のみたまをおまつりするお宮のことをいいます。

累代の祖先のみたまをより良い天国に救うには、
『子孫が行う祭祀の善徳によつてその神霊は向上するものである』とお示しいただいていきます。
みたままつり（祖霊祭祀）とは、ご先祖さまのために子孫が行う大切な務めなのです。



みろく博士

大本本部

綾部・梅松苑 綾部祭祀センター
〒623-0036
京都府綾部市本宮町 1-1 梅松苑 / TEL 0773 (42) 0187

亀岡・天恩郷 亀岡宣教センター
〒621-8686
京都府亀岡市天恩郷 / TEL 0771 (22) 5561

東京本部 東京宣教センター
〒110-0008
東京都台東区池之端 2-1-44 / TEL 03 (3821) 3701

大本ホームページ <http://www.oomoto.or.jp/>
※「大本いろは」は大本ホームページ（ご案内ページ）から、カラーでダウンロードできます



<連絡先>



年祭とは

年祭とは、故人の霊界での向上、活躍をお祈りするとともに、日々のご守護を感謝申し上げるため、決められた年ごとに行われる祭典です。

帰幽きゆうされてから満一年目を一年祭といひ、二年、三年、四年と、五年祭までは毎年、年祭を行います。

それ以降は十年祭、十五年、二十年、三十年、四十年、五十年祭を行い、その後は百年、百五十年、二百年と五十年ごとに、千年以降は百年ごとに行います。

年祭は、帰幽された日に行うことが理想的であり、日にちを変えることは好ましくありません。しかし、事情によりやむを得ない場合は、その日より前に行うのが良いでしょう。そして、変更する場合は、あらかじめ祖霊さまにそのことをご報告しておきましょう。みろく殿（大本いろはNo.40参照）・祖霊社での年祭執行の依頼と、当日参拝はもちろんのこと、各家でも忘れずに年祭を行います。

毎年慰霊祭

年一回、復祭を行った日、または各家の祖霊舎におまつりした日を記念して依頼・執行するのが毎年慰霊祭です。

毎年慰霊祭は、祖霊社におまつりされている各家、全てのみたまさま（帰幽年月日や、氏名などが不明なみたまも含む）にお受けいただいた祭典で、大神さまのご守護の下、祖霊の霊界での向上を祈らせていただき、意義深いものです。

年祭と同じく、各家でも行うことが大切です。

霊祭課からの通知(はがき)

梅松苑・霊祭課から、その家の齋主として登録されている方宛てにはがきが届きます。年祭の欄には帰幽した日にちが、毎年慰霊祭の欄には復祭をした日にちが記載されています(図1参照)。はがきの裏面(図2参照)に必要な事項を記入の上、祭祀料を添えて祭典

を申し込み、当日はできる限り、参拝させていただきます。

日供米・日供料

各家の祖霊舎で祖霊鎮祭を行った後は、毎日お給仕をさせていただくこととなります。同時に、みろく殿の祖霊社でも毎朝、お給仕を行っています。日供米とは、そのお給仕のお米のことをいいます。

祖霊のみたまは、私たち子孫が真心をもってお仕えることにより、天界でより向上されます。しかし子孫が毎日のお給仕をせず、日供料(日供米に代わる料金のこと)を納めることを怠ると、祖霊のみたまたちは、他家からのお裾分けを頂くこととなり、肩身の狭い思いをされます。

復祭している祖霊をはじめ、幽家かくりやてう参拝しているみたまに対しても、心の込めたお供えをしましょう。日供料は、年一回、毎年慰霊祭の申し込みに併せて、霊祭課へ納めましょう。

郵便はがき

料金別納郵便

〒623-0035 京都府亀岡市荒塚町内丸1

大本 太郎 様

00000 平成30年00月00日

累代の祖先の霊を天国に
すくふは子孫が愛善の徳

聖師様のお歌
通知No.: 000000

復祭 〇=000 通知No.: 000000

〇年祭 平成00年00月00日 帰幽

宣伝使 大本 花子毘女の神霊

毎年慰霊祭 00月00日

大本家代々祖等の神霊



図1 案内はがき(表)

霊祭申込書

表記の霊祭を下記の通り祭祀料をそえて申し込みます。

大神様玉串料 円 任意です

祖霊様玉串料 円 任意です

万霊様玉串料 円 任意です

祭祀料 円 標準1冊につき3,000円以上です。

(表記以外の祭典のご希望に印を付けてください)

慰霊祭 幽家慰霊祭

万霊社慰霊祭 (各3,000円以上です)

日供料 円 年間3,000円以上です。

※日供料は毎年慰霊祭に合わせてご納付ください。

墓地清掃料 円 年間3,000円以上です。

※前納制としています。翌年分までお納め下さい。

◆年祭祭典は神霊さまのご冥天日にいたします。

通知が届きましたら早や目にお申し込み下さい。

年祭等に参拝される方はその旨下欄に明記してください。

◇ご送金は現金書留又は郵便振替(口座番号:01070-4-26257 大本本部霊祭課)をご利用下さい。

◇参拝致します 月 日

◇参拝出来ません ※何れかに〇印をして下さい。

通信欄

(神霊の姓名にふりがなの無いものは記入して下さい。)

図2 案内はがき(裏)

祖霊祭祀料一覧

- 年 祭……………3、000円以上
- 慰霊祭……………3、000円以上
- 日供料(一年分)……………3、000円以上

※祭祀料は振込もできます。

〈振込先〉

綾部祭祀センター(大本本部霊祭課)
振替番号…

01070-4-26257

〈問合先〉

綾部梅松苑・霊祭課(みろく殿)
電話番号…

0773-42-6988



綾部市梅松苑のみろく殿では毎日、祖霊社にまつられているみたまの祭典が行われています